

続・ふるさと

柔道整復師の制度化に

奔走した人⑤

第22回

大正2年7月に萩原七郎宅を本部に柔道接骨術公認期成会が発足し、接骨術公認にむけて運動が展開された。それをさかのぼる明治44年、萩原七郎は町道場主と相計り「士道会」を組織し、祖母井出身の代議士横堀三子をはじめ多くの関係者を訪ねた。柔道家の窮状と復権を懇願し、帝国議会に政治運動の請願陳情の道を教えていただき、柔道接骨術公認期成会の結成に結びつき大きな弾みとなった。

同氏同行の上、杉山四五郎内務省衛生局長を訪問、「従来接骨術」営業の復興を要請した。局長からは「誠に結構な思いつきである。内務省としても何らかのかたちで考えているが名案がない」とのこと。趣旨は了解したので研究してみるとの回答を得たので、会としても研究のうえ重ねてお願いする旨を述べ辞した。

次に高木正年代議士に同行願って、警視庁に総監貴族院議員安楽兼道氏を訪問。柔道接骨術の公認を目下請願中であるから取り縮まりの寛大を要請し、柔道の保護、国技保存の見地から援護を懇願した。総監より貴族院

に請願の場合は尽力すると言われた。

運動を進めてみると医師会の権威者の了解を得ることが先決であることが判明し、柔道に関係ある三浦謙之助先生、井上通泰先生を訪問して柔道家の境遇の実情を述べ、柔道家の保護の見地から接骨術公認にご高配をいただくよう懇願したところ、両先生とも快く賛意され最後まで指導と尽力をいただいた。



編集後記

■あけましておめでとうございませす。皆さんはどのようなお正月をお過ごしでしょうか。

■4月に広報の担当となり8カ月が過ぎましたが、今年ほど時間の経過を早く感じた年はありませんでした。しかも編集の関係で、今月と来月の情報が入りの中で交錯しており、常に軽い時差ボケ状態です。

■年末年始の休みに身も心もリフレッシュして、気持ちも新たに1月4日の仕事始めを迎えたいと思います。

本年もよろしく願います。

(サ)



Anas: falcata (全長48.5cm)
(鎌のような尾羽のカモ類)



淡水ガモ類(水面採餌性)のなかでは中型で、池の中央部にいることが多い。雄の頭から顔が紅紫色と緑色の光沢の黒色で、後頭部の羽が長く特徴があるので目立つ。探鳥会の時には子どもたちに『ナポレオンの帽子をかぶったカモ』と説明するが、あまり理解されないので『デカ頭』と略すると分かりやすい。

喉と首は白く細い黒い首輪があり、胸から腹部にかけては白地黒い三日月班があり遠方からは灰色に見える。背中から尾羽にかけては灰色で尾羽は下側にカールしているので、学名はこの特徴を指している。臀部は全体が黄色く、一本の黒い帯状の線が入っている。

本土に飛来する数は少ないが、時には10羽位の集団でいることもある。毎年1月15日は、環境省がガンカモ類のカウントを実施しており、本町では唐桶の溜が調査地となっている。

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>
- 苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898
- 芳賀町の携帯サイトはコチラから➔



R100
省資源率100%再生紙を使用しています

